

## 十勝岳

期 日： 2023年6月20日(火) 天候：晴～曇

コース： 望岳台 6:20→7:00 吹上温泉白銀荘分岐→7:25 雲ノ平分岐→7:40 十勝岳避難小屋→  
9:10 昭和噴火口→10:20 十勝岳避難小屋→10:30 雲ノ平分岐→10:45 吹上温泉白  
銀荘分岐→11:10 望岳台

参加者： TA、MT

望岳台から十勝岳山頂までのピストン山行を計画した。天候は曇りで遠方には晴れ間も見えるものの、山頂上空は水平な雲で覆われつつある。「てんきとくらす」によると山頂に近い標高2,000mでは $-2^{\circ}\text{C}$ で15m/sの強風が吹いているそうだ。これは午前9時時点の予報なので、好転を祈って出発した。出発時点の望岳台の気温は $12^{\circ}\text{C}$ 。標高は930m。

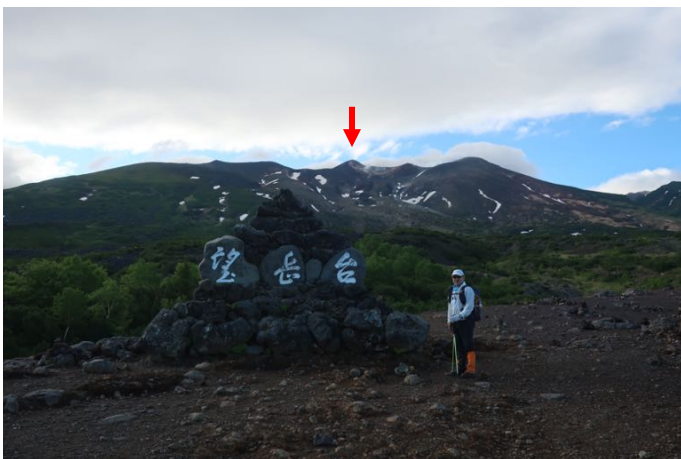


十勝岳望岳台防災シェルター

早朝から開いており、水洗トイレや綺麗な休憩所を利用できる



十勝岳望岳台駐車場を出発



望岳台

この時点では十勝岳山頂（赤矢印）は見えていた  
この後、上空の雲が徐々に下がってくる



左から美瑛富士、美瑛岳、十勝岳





火山噴出物の裾野にはエゾイソツツジが群生している

吹上温泉白銀荘への分岐  
白銀荘から来る道も良さそうだった



山頂が良く見えている

左（北東）にはトムラウシ山が見えている



雲ノ平分岐

下界方面  
雲が降りてきた！





十勝岳避難小屋（右隣は観測所）  
周りに身を隠すところが全く無いため、  
携帯トイレブースが欲しいところだ  
(望岳台に携帯トイレの回収ボックスがあるそうだが、どこですか?)



チシマキンバイソウ



火山特有の荒々しい道になってきた



傾斜もキツくなってきた  
雪渓の左の尾根を登る



メアカンキンバイ



エゾノツガザクラ





雪溪の上から下方を見る  
この辺りですでに雲の中（下界は晴れているが）  
冷たい風が強く、カップを着る



ようやく昭和噴火口の淵に上がる  
0℃の暴風に吹かれ、凍える  
「てんきとくらす」の予報通り 15m/s 位はありそう



山頂方面には全く視界無し  
左には昭和噴火口や摺鉢噴火口、  
右にはグランド噴火口が見えているはず



記念写真を撮って  
撤退を決めました  
標高は 1,700m



ようやく白銀荘分岐まで降りてきた  
気温は 8℃



山頂は雲にすっかり覆われている



望岳台  
後方の美瑛岳・美瑛富士も雲の中



十勝岳望岳台駐車場に到着  
無理せず、無事下山して良かった  
十勝岳山頂の絶景はいつかりベンジして見たい

以上